

富山市民意識調査結果報告書
《概要版》

平成 27 年 8 月

富 山 市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 富山市の住み良さ	2
① 富山市の住み心地	
② 富山市への定住意識	
③ 富山市に住み続けたい理由	
④ 富山市外へ引っ越したい理由	
3. 施策の満足度	8
4. 今後のまちづくりの重点	14
5. 市民の普段の取り組み	15

この冊子のみかた

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が 100%を上回る。
- ・ N は各質問に対する回答者総数であり、比率算出の基数である。

1

調査の概要

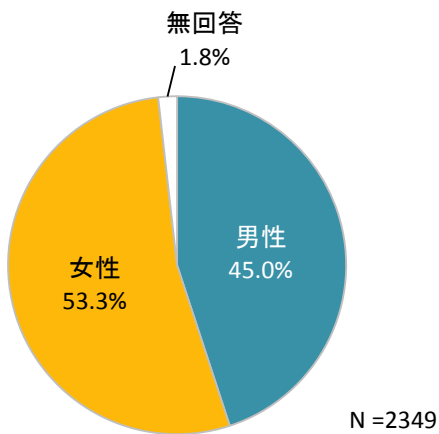
富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆様へ、施策の満足度や市政への要望などについてのお考えやご意見をお伺いし、『総合計画』や今後の市政の推進に反映させていくために実施しました。

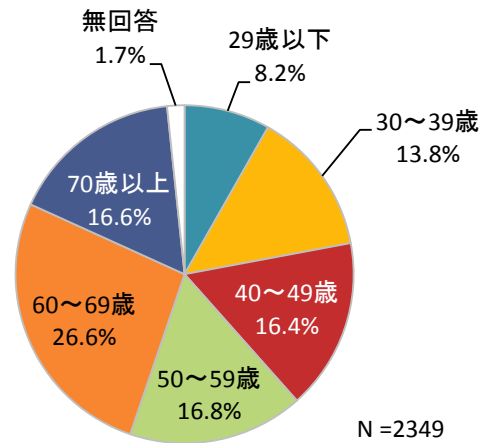
無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様6,000人に依頼し、2,349人、39.2%の方から回答をいただきました。回答いただきました方の内訳は次のとおりです。

調査回答者内訳

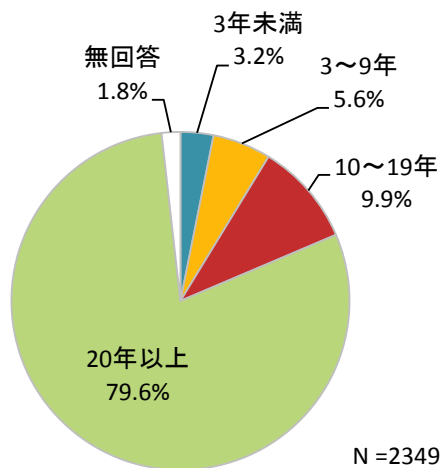
【性別】



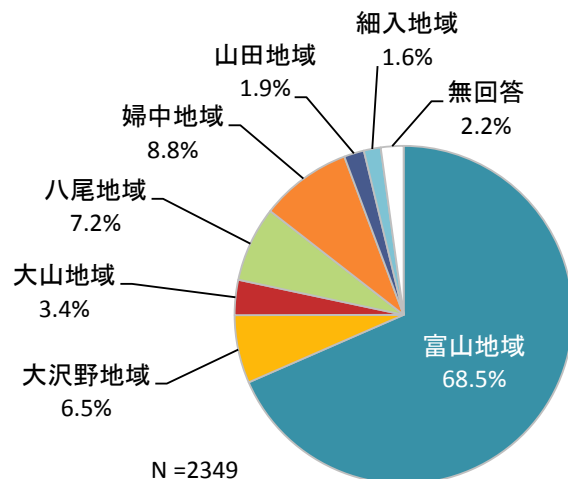
【年齢別】



【居住年数別】



【居住地域別】



2

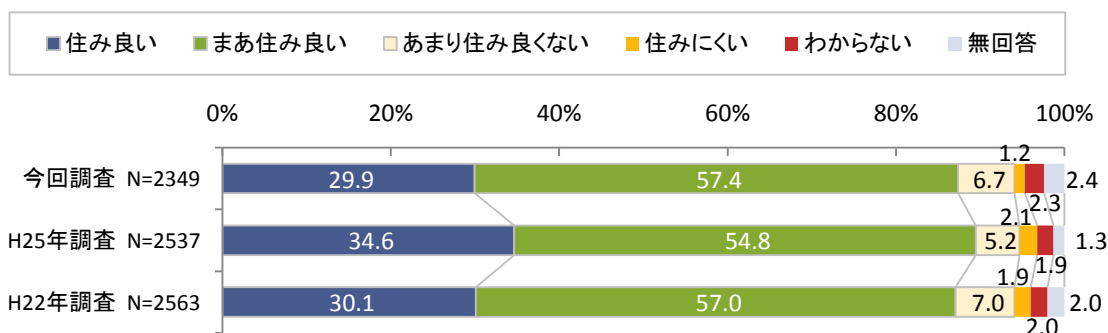
富山市の住み良さ

① 富山市の住み心地

● 9割近くの人が「住み良い」「まあ住み良い」と感じている

平成22年調査からの変化についてみると、「住み良い」「まあ住み良い」を合わせた割合は、いずれも9割弱と大きな変動はないものの、今回「住み良い」とされた割合は、平成25年(前回)調査を4.7ポイント下回っています。

【富山市の住み心地<全体・経年変化>】

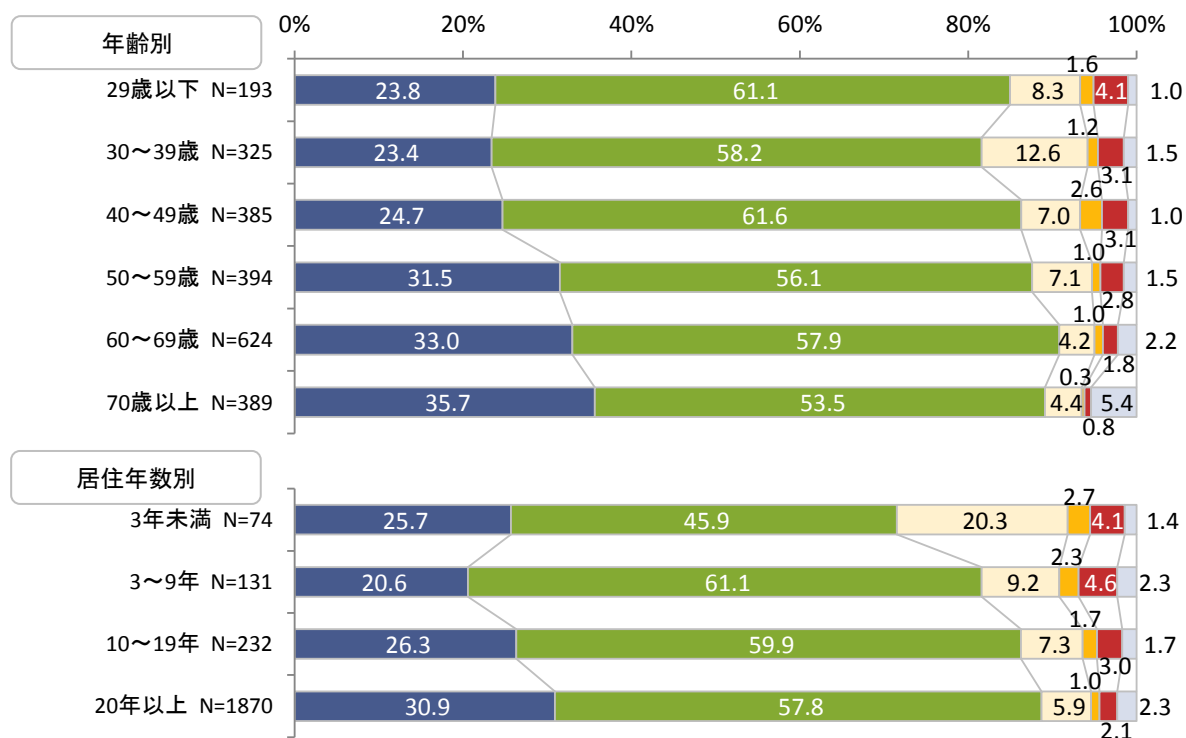


● 長く住んでいる人ほど「住み良い」「まあ住み良い」と感じている

年齢別に「住み良い」「まあ住み良い」と回答した割合をみると、60歳代が最も高く、子育て世代である30歳代が最も低くなっています。

居住年数別にみると、居住年数が長いほど「住み良い」「まあ住み良い」と回答される割合が高くなる傾向にあります。一方、3年未満の人の2割以上が「あまり住み良くない」「住みにくい」と感じています。

【富山市の住み心地<年齢別・居住年数別>】

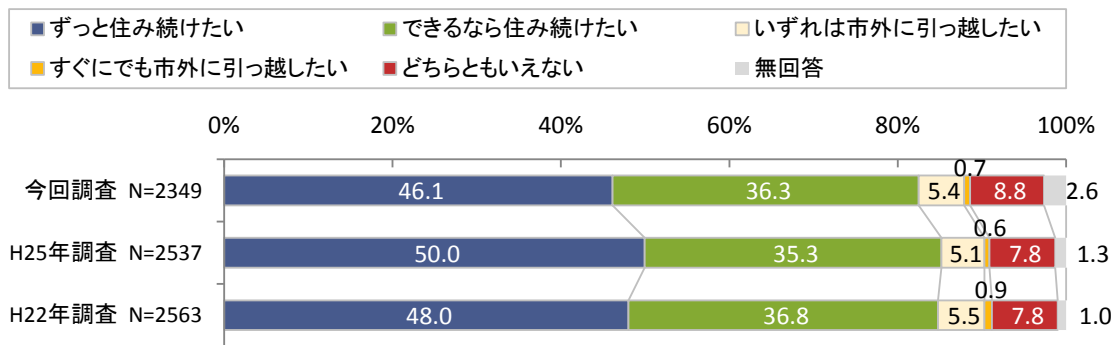


② 富山市への定住意識

● 8割以上が「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」と回答

平成22年調査から一貫して8割以上が、今後も富山市に「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」と回答しているものの、今回「ずっと住みたい」とされた割合は、平成25年(前回)調査を3.9ポイント下回っています。

【富山市への定住意識<全体・経年変化>】

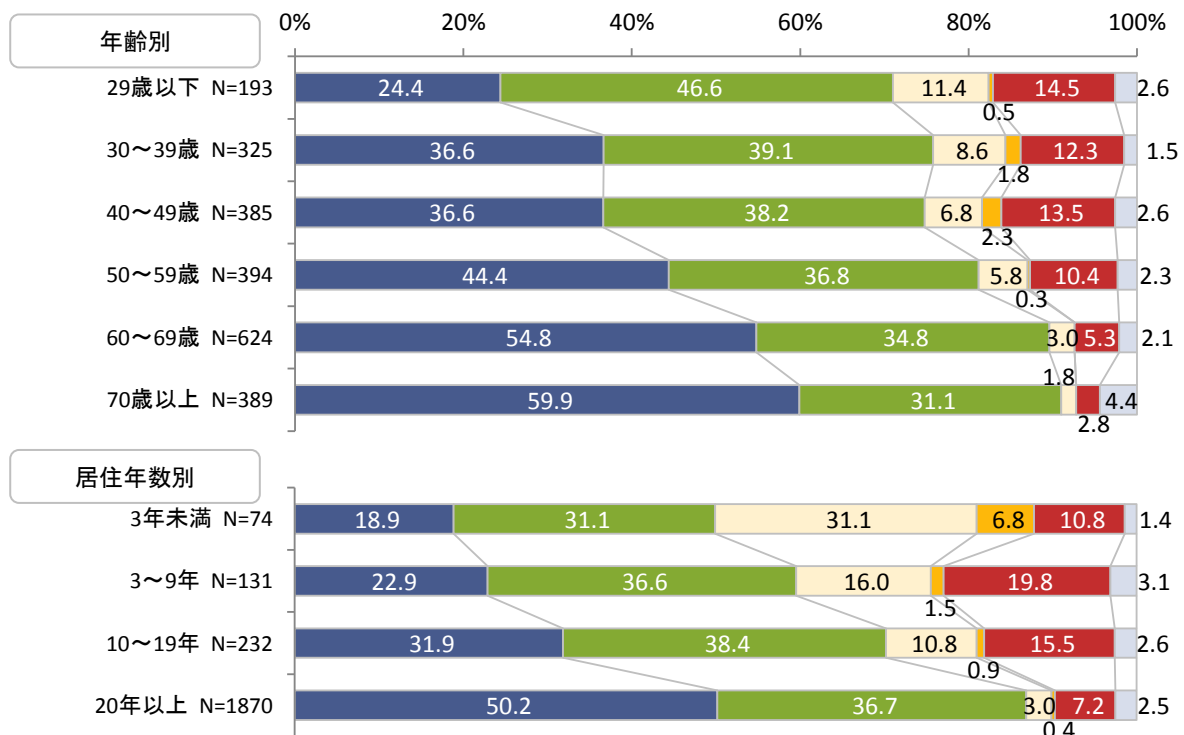


● 長く住んでいる人ほど定住意識も強い

年齢別にみると、子育て世代である30歳代と40歳代がよく似た傾向を示しています。また、70歳以上で「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」と回答した人は9割を超えています。

居住年数別にみると、居住年数が長いほど「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」と考える割合も高く、富山市に20年以上住み続けている人と3年未満の人の間には36.9ポイントの差がみられます。

【富山市への定住意識<年齢別・居住年数別>】



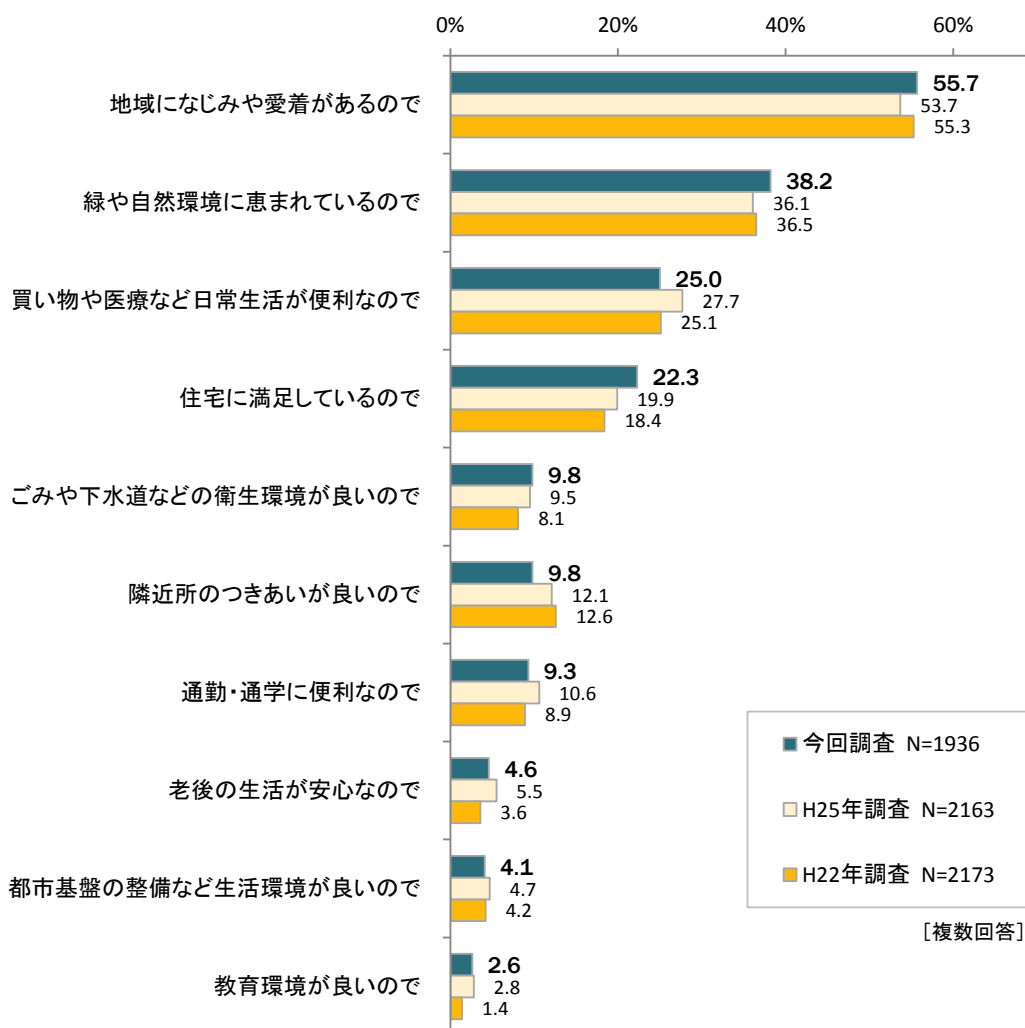
③ 富山市に住み続けたい理由

(P3 ②の質問で、「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答した方にお伺いしました)

● 「地域への愛着」や「自然環境」が定住意識を高めている

住み続けたい理由としては、平成 22 年調査時より一貫して「地域になじみや愛着があるの
で」が最も高く、以下「緑や自然環境に恵まれているので」「買い物や医療など日常生活が便
利なので」「住宅に満足しているの」の順位に変動はありません。

【富山市に住み続けたい理由<全体・経年変化>】



● 居住年数が短いちは「日常生活」や「通勤・通学」の便利さを重視

年齢別にみると、いずれの年代も最も重視しているのは「地域になじみや愛着があるので」ですが、29歳以下および30歳代では「通勤・通学に便利なので」の回答割合が比較的高く、全体をそれぞれ10ポイント以上上回っています。

居住年数別にみると、居住年数が長いほど「地域になじみや愛着があるので」とする割合も高くなっていきます。一方、3年未満の人では、まだ愛着はそれほど高くないものの、「通勤・通学の便利さ」や「教育環境の良さ」が全体を大きく上回り、これが富山市の魅力となっていることがうかがわれます。

【富山市に住み続けたい理由＜年齢別・居住年数別＞】

(%)

	回答者数(人)	愛着がある地域になじみや	恵まれた自然環境に	日常生活や医療などの	買い物や医療などの	住宅に満足している	衛生環境が良好な	ごみや下水などの	良いのでつきあいが	隣近所ので	通勤・通学に便利	老後の生活が安心	都市基盤の整備	生活環境が良い	教育環境が良い	その他	無回答
全体	1,936	55.7	38.2	25.0	22.3	9.8	9.8	9.3	4.6	4.1	2.6	4.6	1.0				
＜年齢別＞																	
29歳以下	137	62.8	32.8	19.7	20.4	6.6	5.8	20.4	1.5	4.4	3.6	2.2	2.2				
30～39歳	246	59.3	35.4	19.1	22.4	4.5	5.3	24.0	1.2	2.4	6.9	4.9	0.4				
40～49歳	288	54.9	37.2	17.0	24.7	5.9	8.7	13.5	2.4	3.5	5.6	6.6	1.7				
50～59歳	320	57.5	41.3	25.6	21.3	5.9	8.1	9.4	4.4	5.0	1.6	6.6	0.6				
60～69歳	559	55.1	40.4	29.0	22.5	12.7	11.1	3.0	5.5	3.8	0.9	5.0	0.9				
70歳以上	354	49.7	37.0	31.6	20.9	16.7	13.6	2.3	7.9	5.6	0.6	1.7	1.1				
＜居住年数別＞																	
3年未満	37	10.8	37.8	27.0	27.0	5.4	2.7	37.8	-	8.1	13.5	5.4	5.4				
3～9年	78	28.2	29.5	30.8	28.2	6.4	12.8	24.4	3.8	9.0	5.1	9.0	-				
10～19年	163	43.6	36.2	27.0	22.7	9.2	8.0	17.2	3.7	6.1	5.5	2.5	1.8				
20年以上	1,624	59.1	38.9	24.7	21.7	10.1	9.7	7.4	4.6	3.6	2.0	4.7	0.9				

□ は、各属性 第1位の回答

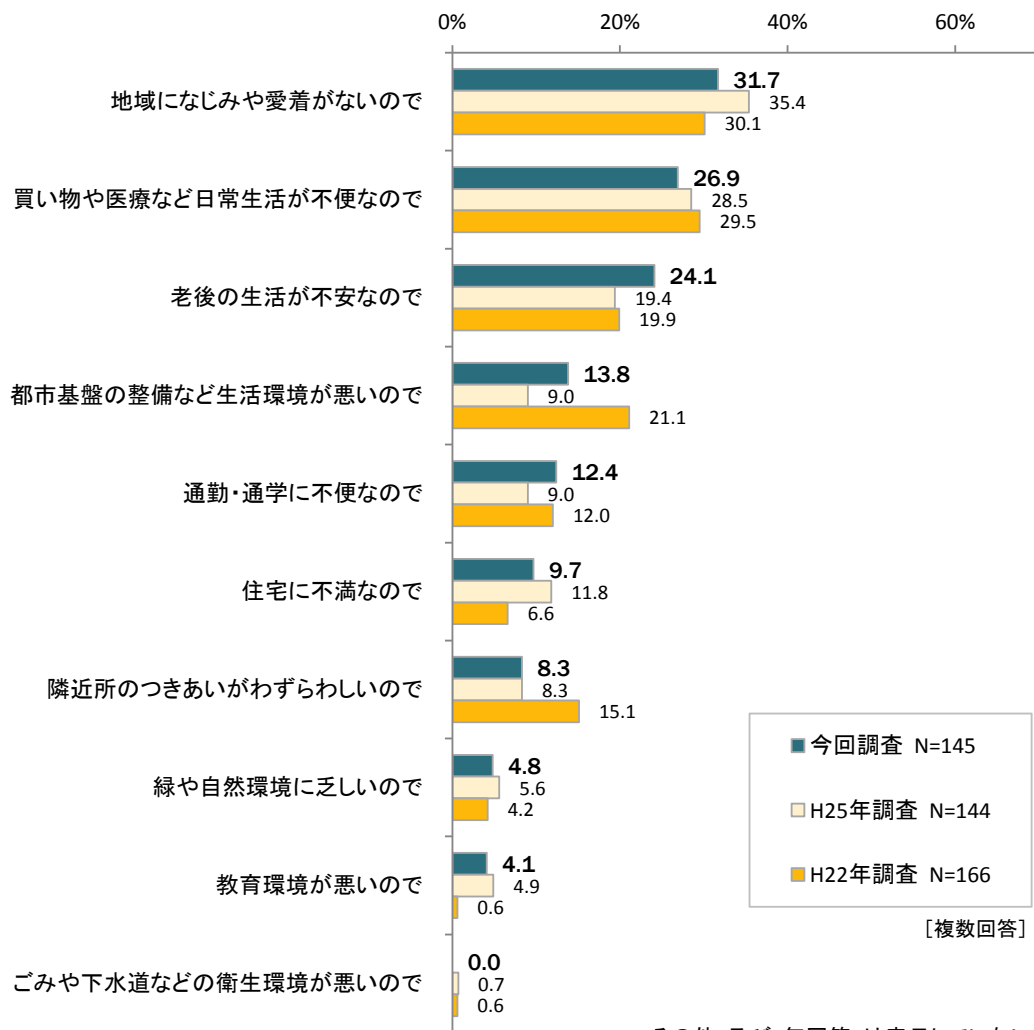
④ 富山市外へ引っ越したい理由

(P3 ②の質問で、「いずれは市外に引っ越したい」「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した方にお伺いしました)

● 「愛着のなさ」や「日常生活の不便さ」が引っ越したい主な理由

引っ越したい理由としては、平成 22 年調査時より一貫して「地域になじみや愛着がないので」が最も高く、次いで「買い物や医療など日常生活が不便なので」となっています。また、今回は「老後の生活が不安なので」が、平成 25 年(前回)調査に引き続き 3 番目に高い項目として挙げられています。

【富山市外へ引っ越したい理由<全体・経年変化>】



● 子育て世代は「なじみや愛着」がなく、高齢者は「老後の生活が不安」

年齢別にみると、30歳代および40歳代では「地域になじみや愛着がないので」が最も高く、30歳代の半数以上が理由として挙げています。また、「買い物や医療など日常生活が不便なので」は広い世代から、「老後の生活が不安なので」は年齢の高い世代から、それぞれ回答を集めています。

居住年数別にみると、3年未満の居住者の半数、3～9年では6割以上、10～19年の居住者であっても、その4割以上が「地域になじみや愛着がないので」と回答しています。

【富山市外へ引っ越したい理由＜年齢別・居住年数別＞】

(%)

	回答者数(人)	愛着がないのみ	地域になじみや愛着がないので	日常生活が不便なので	老後の生活が不安なので	都市環境が悪いので	生活環境が悪いので	通勤・通学に不便なので	住宅に不満なので	近所づらわりのつきあいが	緑や自然環境に	教育環境が悪いので	衛生環境が悪いので	ごみや下水道などの	その他	無回答
全体	145	31.7	26.9	24.1	13.8	12.4	9.7	8.3	4.8	4.1	-	36.6	-			
＜年齢別＞																
29歳以下	23	26.1	30.4	13.0	17.4	26.1	-	8.7	4.3	-	-	30.4	-			
30～39歳	34	52.9	26.5	8.8	17.6	11.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-	35.3	-			
40～49歳	35	37.1	25.7	22.9	11.4	11.4	5.7	2.9	2.9	8.6	-	54.3	-			
50～59歳	24	25.0	29.2	29.2	20.8	12.5	12.5	4.2	4.2	4.2	-	41.7	-			
60～69歳	19	10.5	21.1	42.1	5.3	5.3	21.1	15.8	10.5	-	-	15.8	-			
70歳以上	7	-	14.3	71.4	-	-	-	28.6	14.3	-	-	28.6	-			
＜居住年数別＞																
3年未満	28	50.0	28.6	14.3	7.1	14.3	3.6	7.1	3.6	-	-	42.9	-			
3～9年	23	60.9	17.4	26.1	8.7	8.7	4.3	-	4.3	8.7	-	47.8	-			
10～19年	27	40.7	25.9	18.5	18.5	3.7	18.5	7.4	3.7	-	-	29.6	-			
20年以上	64	9.4	28.1	29.7	17.2	17.2	10.9	10.9	6.3	6.3	-	34.4	-			

□ は、各属性 第1位の回答

3 施策の満足度

富山市では5つの“まちづくりの目標”のもと、62の施策を設定して総合計画を推進しています。この62の施策について、市民の皆様の満足度をお尋ねしました。

回答は6段階（満足—ほぼ満足—普通—やや不満—不満—わからない）ですが、ここではそのうちの「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』としました。

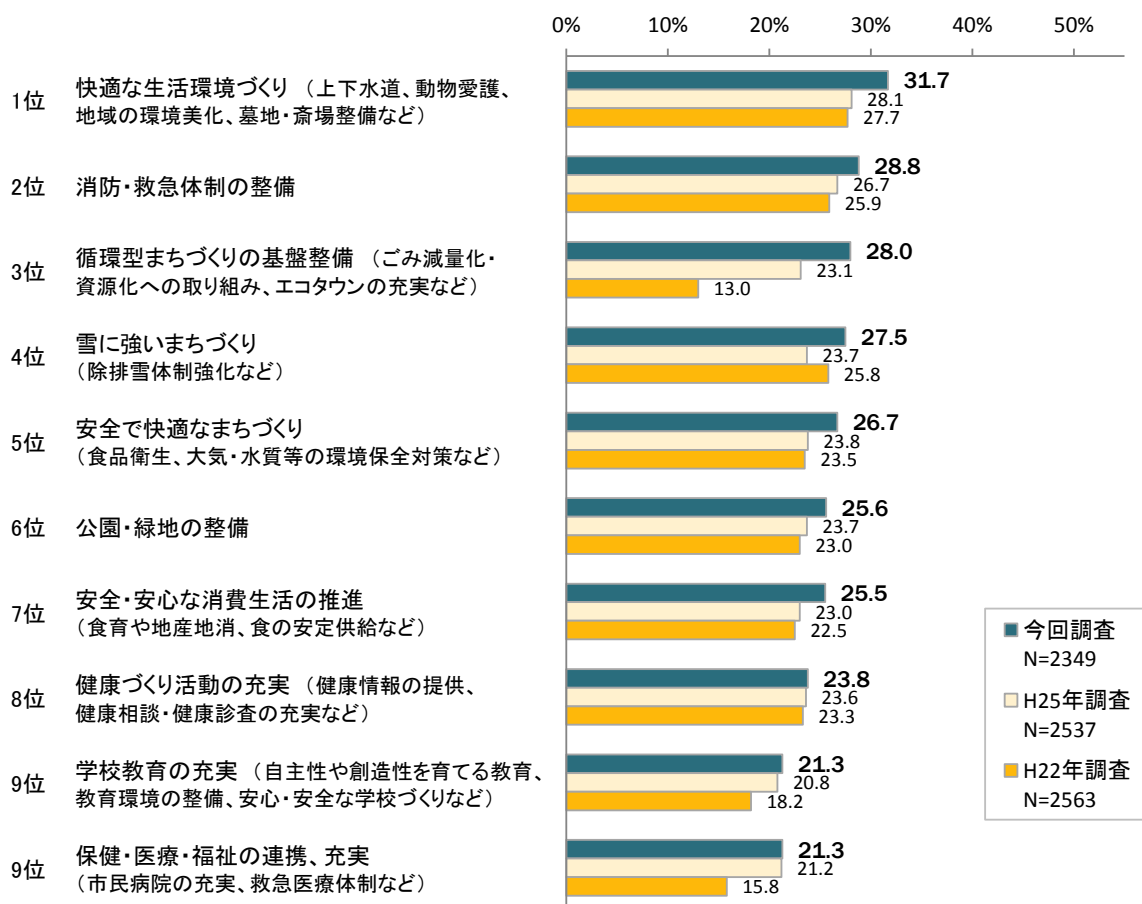
そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

● 「快適な生活環境」「消防・救急体制」に満足

『満足』の割合が高い施策についてみると、平成22年調査時より一貫して「快適な生活環境づくり」が最も高く、次いで「消防・救急体制の整備」となっています。

また、今回3位の「循環型まちづくりの基盤整備」は、22位(H22年) → 7位(H25年) → 3位(今回)と大きく順位を上げており、環境未来都市としての様々な取り組みが徐々に評価されてきたことの表れともみられます。

【『満足』（満足＋ほぼ満足）：10位以内＜全体・経年変化＞】

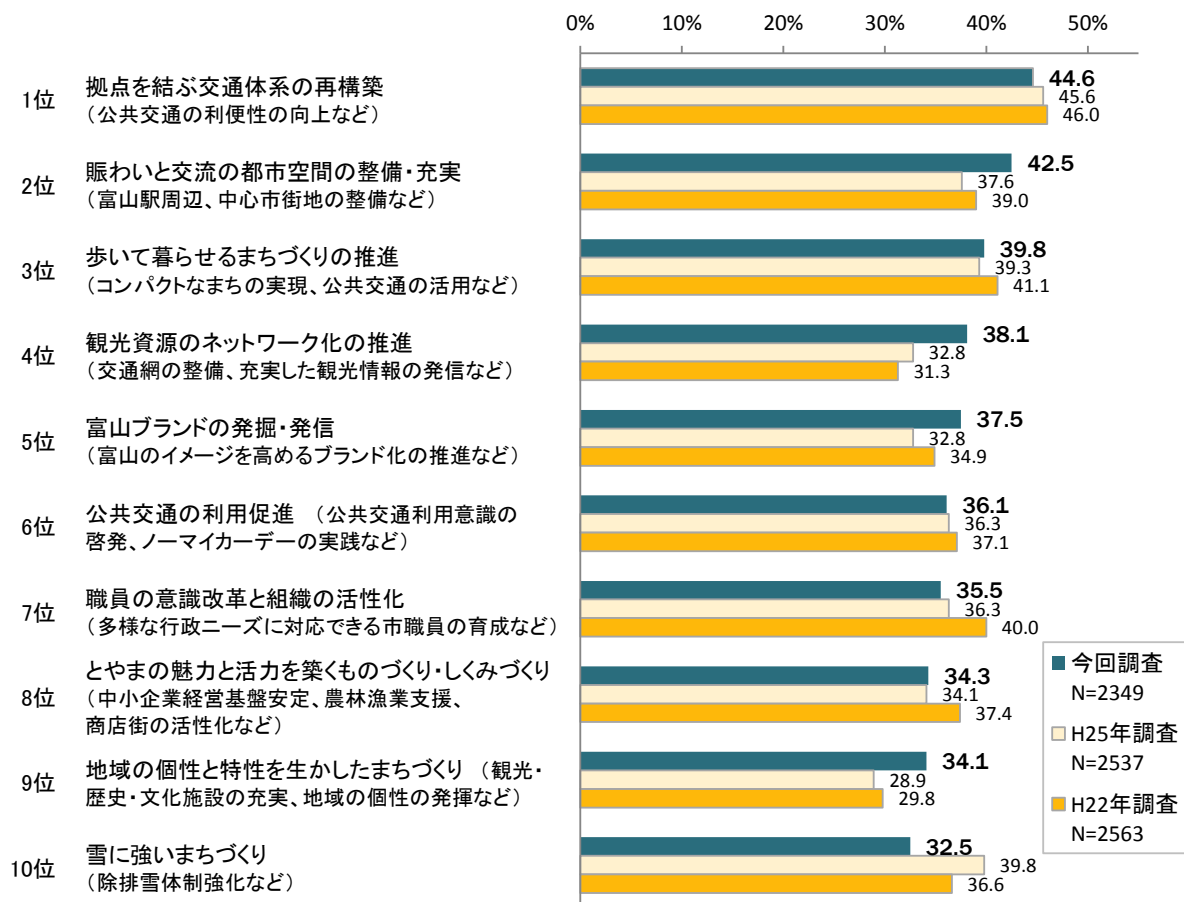


● 「交通体系」に不満、観光への意識が高まっている

『不満』の割合が高い施策についてみると、平成22年調査時より一貫して「拠点を結ぶ交通体系の再構築」が最も高くなっています。

また、今回4位の「観光資源のネットワーク化の推進」は、14位(H22年) → 8位(H25年) → 4位(今回)へ、今回5位の「富山ブランドの発掘・発信」は、10位(H22年) → 8位(H25年) → 5位(今回)へ、今回9位の「地域の個性と特性を生かしたまちづくり」は、17位(H22年) → 14位(H25年) → 9位(今回)へと、それぞれ不満度が上がるとともに順位も上がっており、北陸新幹線開業を機に、富山市の魅力のブラッシュアップや発信等への関心が高まっていることの影響がうかがえます。

【『不満』（不満+やや不満）：10位以内＜全体・経年変化＞】



◇ 居住地域別『満足』『不満』— 10位以内 —

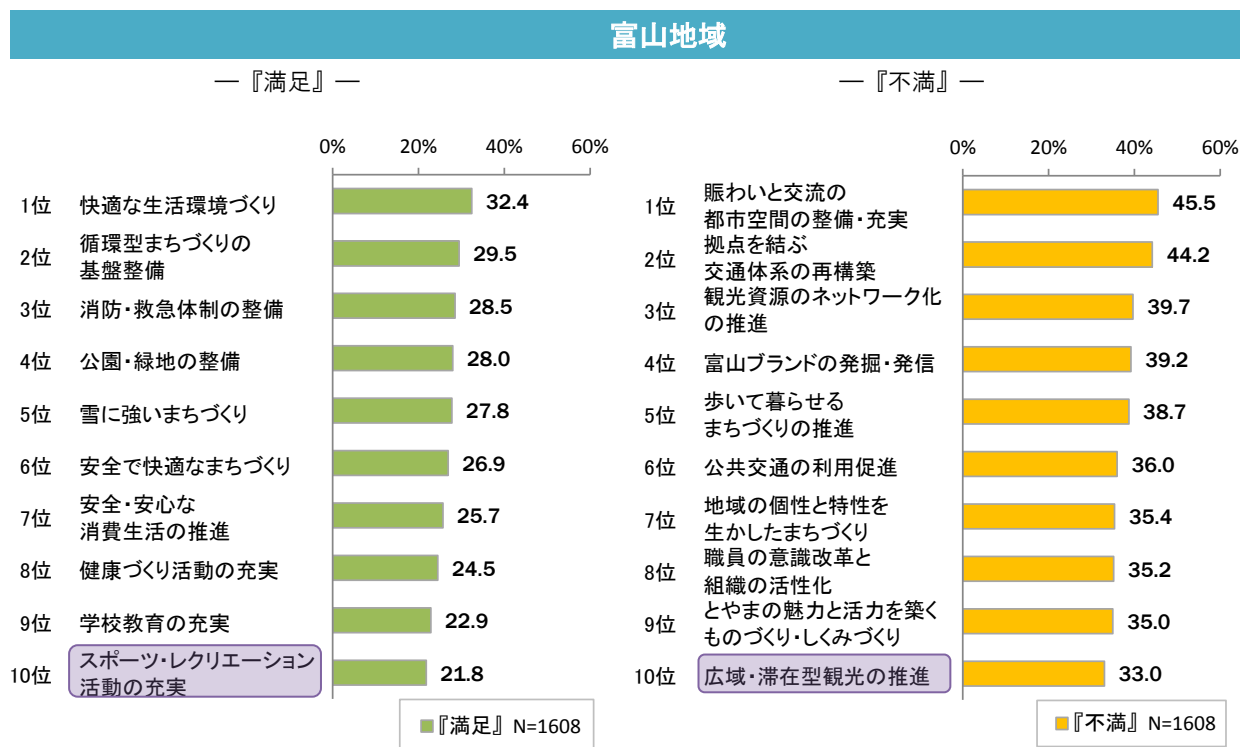
居住地域別の上位項目について、特に全体における10位以内には含まれていないものに
着目することにより、各地域における独自の課題等を探ります。

● 大山・八尾・山田・細入地域では「中山間地域の振興」に不満

『満足』についてみると、大山地域、山田地域では「子育て環境の充実」(全体16位)が、
大山地域では「防犯・防災体制の充実」(全体21位)が、八尾地域では「ふるさと景観の保全・
形成」(全体18位)が、細入地域では「地域を結び生活を支える道路網の整備」(全体19位)
などがランクインしており、それぞれの地域の住み良さにつながるものと考えられます。

『不満』についてみると、大山地域、山田地域などでは「中山間地域の振興」(全体22位)
が、大沢野地域、大山地域、山田地域では「勤労者福祉の向上」(全体11位)が、山田地域、
細入地域では「生態系の保護・回復」(全体44位)が、山田地域では「地域を結び生活を支える
道路網の整備」(全体19位)などが上位に挙げられており、これらはそれぞれの地域における
課題であり、今後の取り組み強化が求められていると言えます。

【『満足』(満足+ほぼ満足)/『不満』(不満+やや不満):10位以内<居住地域別>】



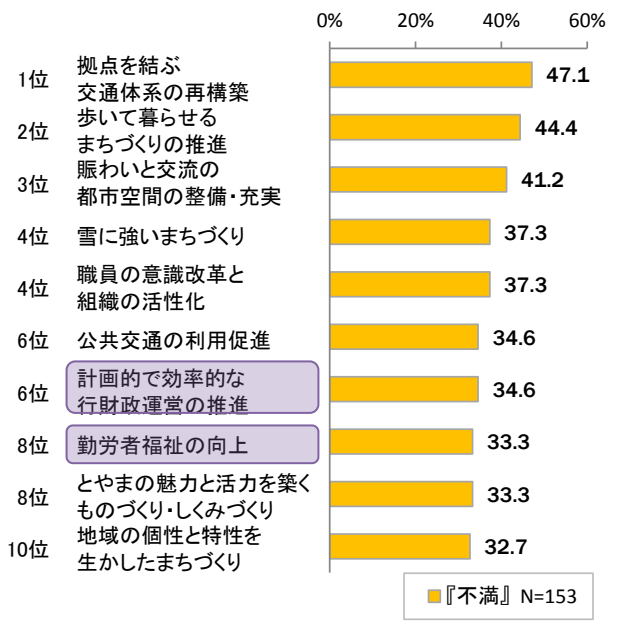
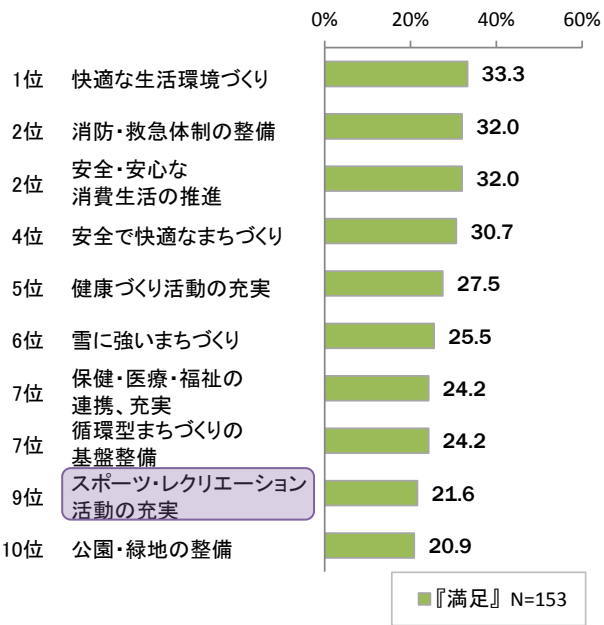


全体の10位以内に含まれないもの

大沢野地域

—『満足』—

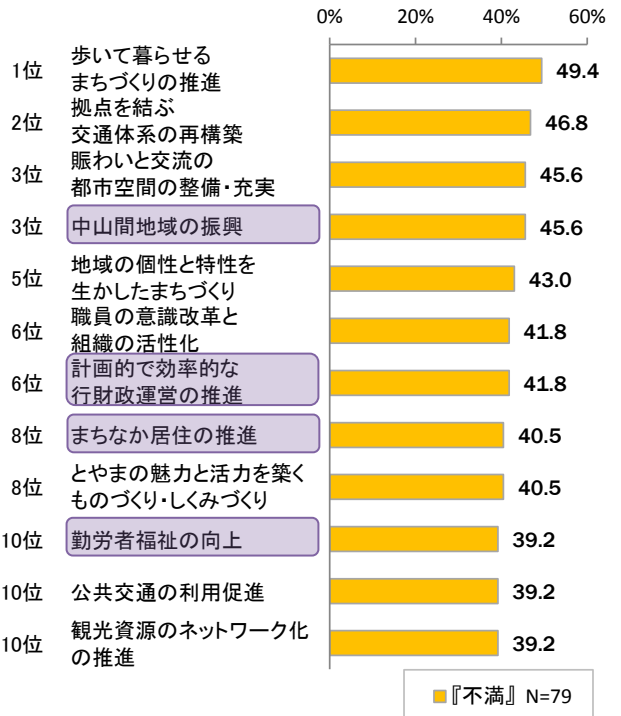
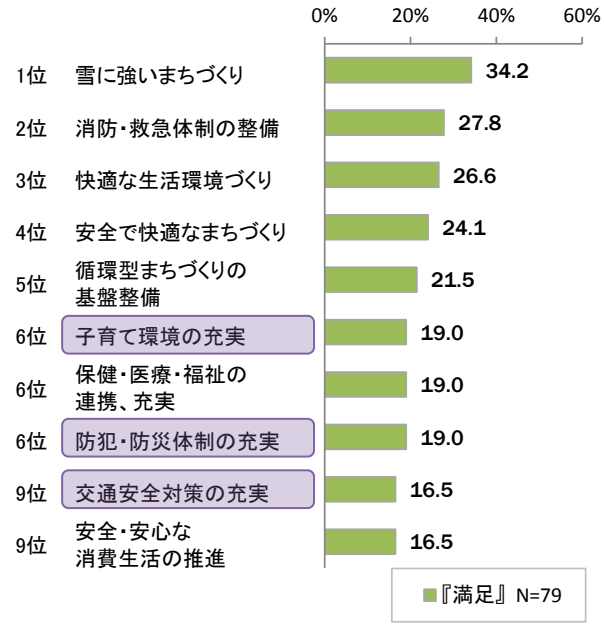
—『不満』—



大山地域

—『満足』—

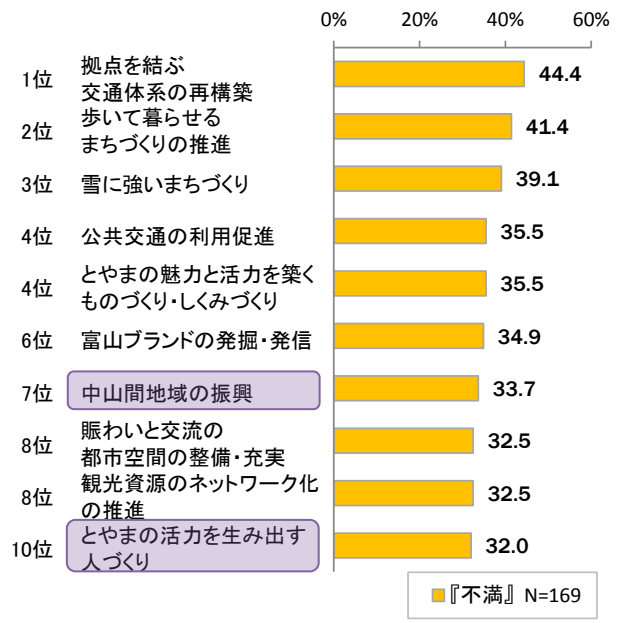
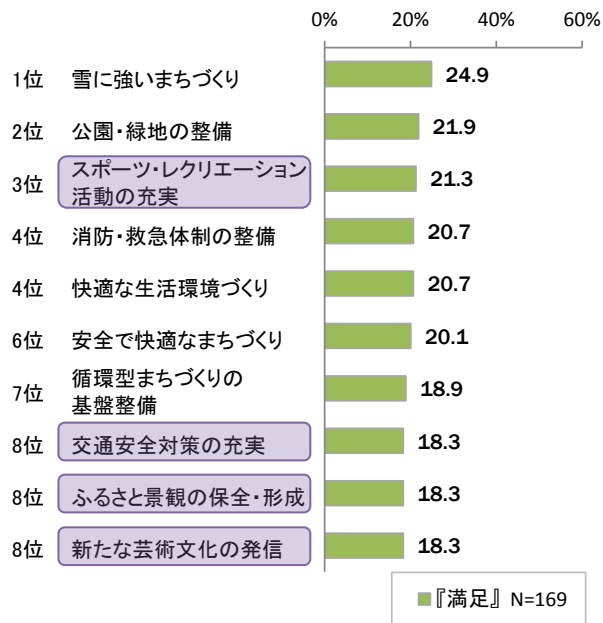
—『不満』—



八尾地域

— 『満足』 —

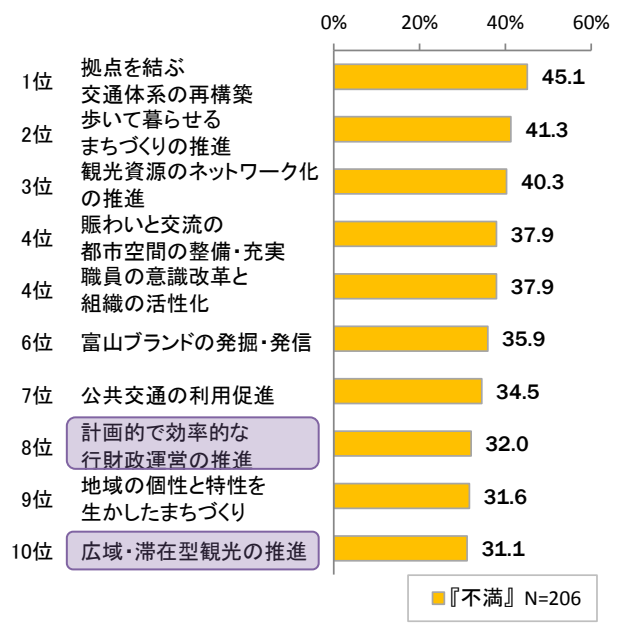
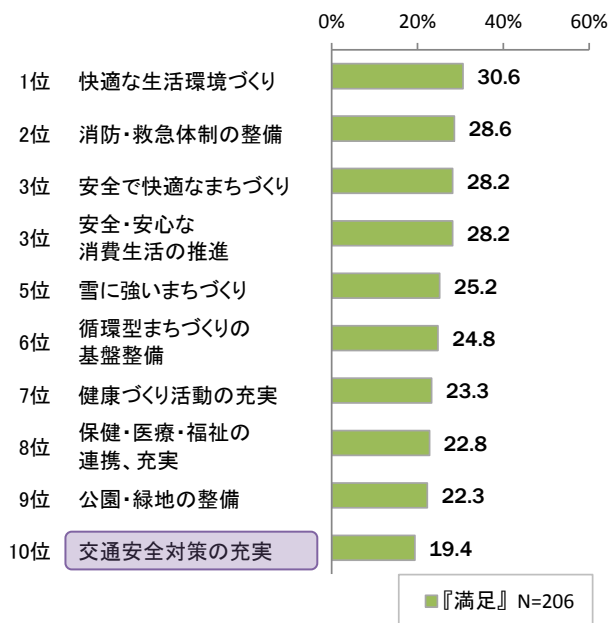
— 『不満』 —



婦中地域

— 『満足』 —

— 『不満』 —

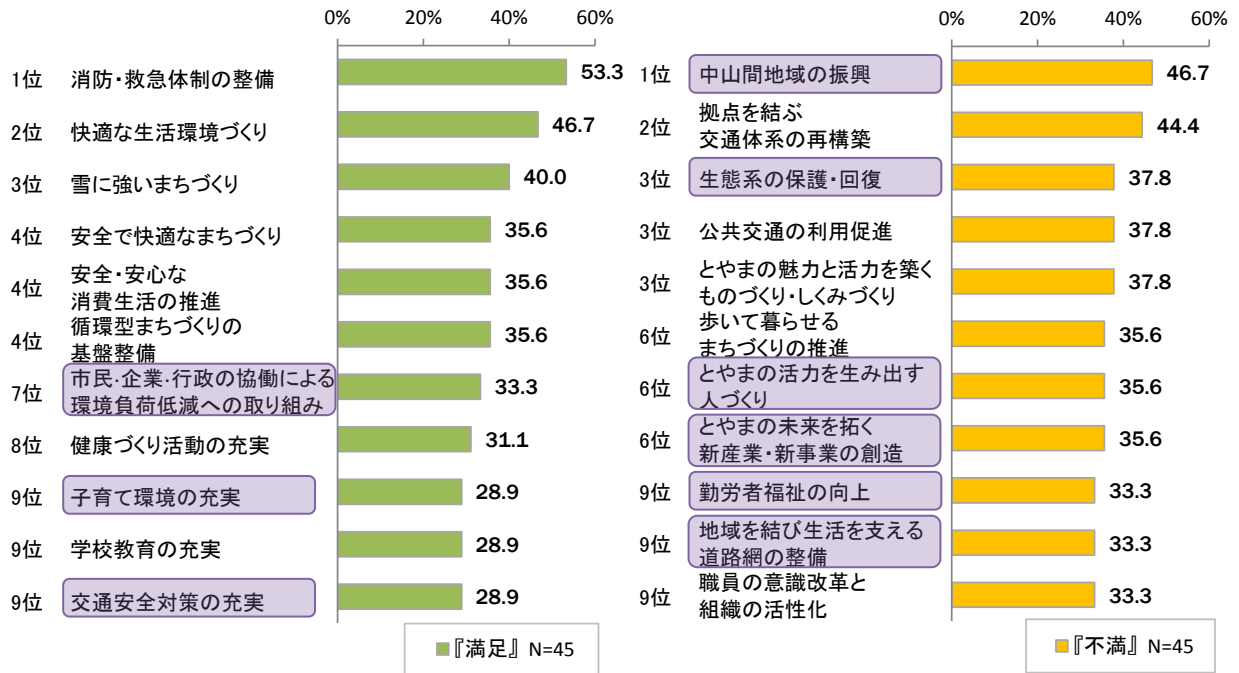


全体の10位以内に含まれないもの

山田地域

—『満足』—

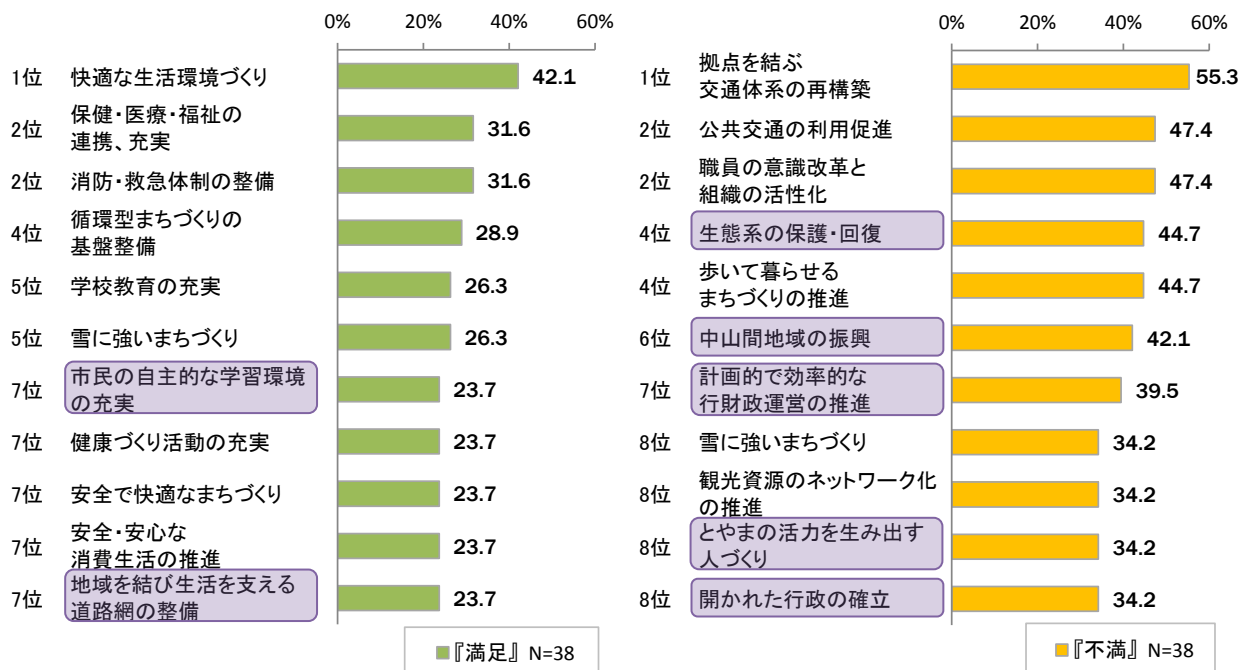
—『不満』—



細入地域

—『満足』—

—『不満』—



4 今後のまちづくりの重点

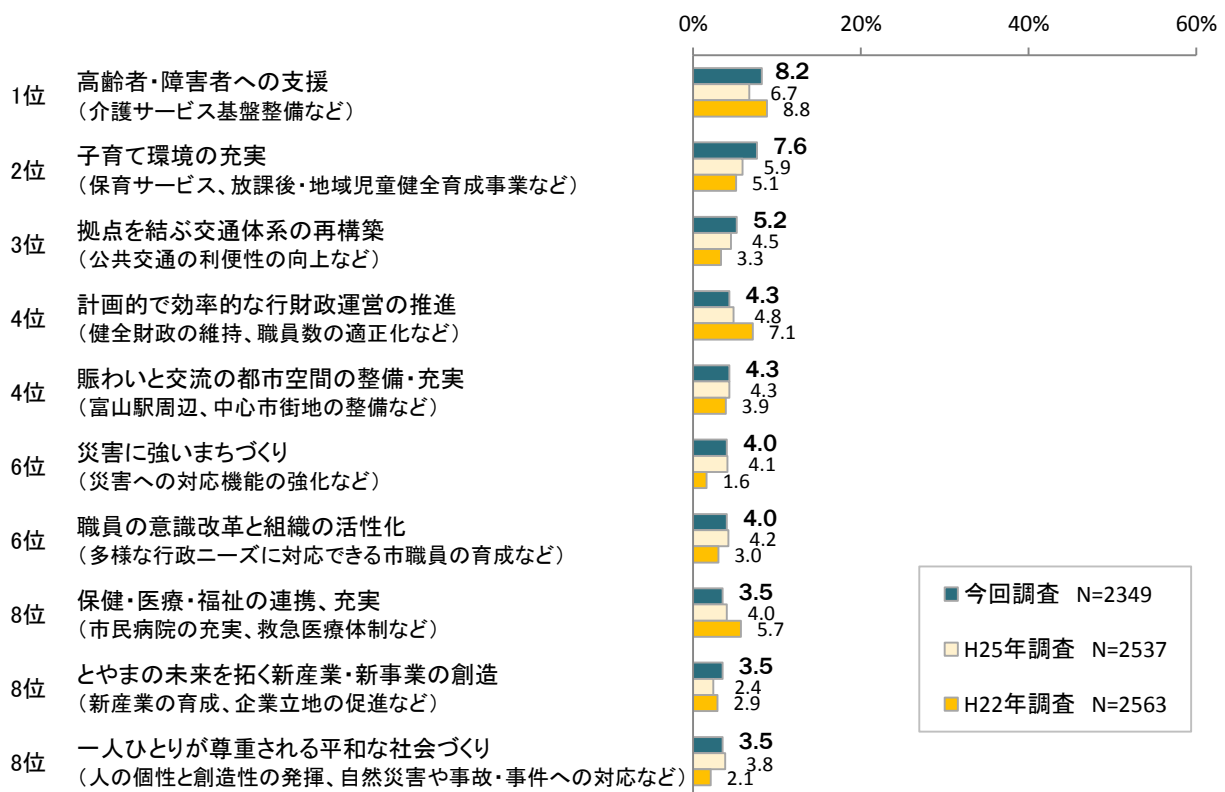
総合計画の62の施策のうち、最も重点的に取り組むべきであると思うものを、1つだけ選んで回答いただきました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

● 「高齢者・障害者への支援」を最重視

平成22年調査時より一貫して「高齢者・障害者への支援」が最も高く、回答者の年齢構成（60歳以上43.2%）との関連が感じられます。続く「子育て環境の充実」は平成25年（前回）調査に引き続き、2番目に高い項目として挙げられており、子育て世代の女性の定住意識の低さとの関係も考えられます。

また、今回6位の「災害に強いまちづくり」は、16位（H22年）→8位（H25年）→6位（今回）と、東日本大震災（H23）の前後で大きな順位の変動がみられます。

【最も重点的に取り組むべきと思うもの：10位以内＜全体・経年変化＞】

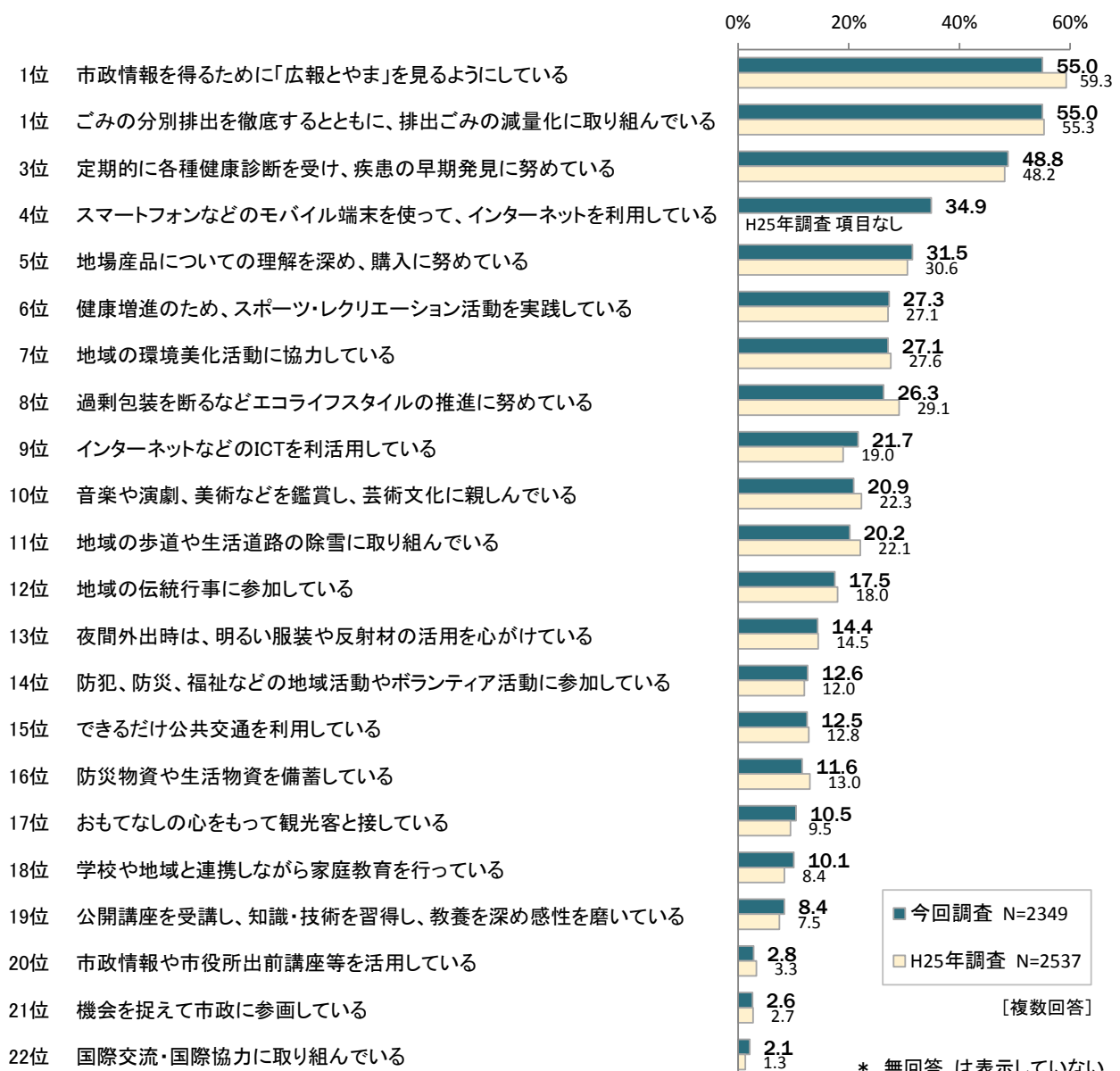


5 市民の普段の取り組み

市民の皆様が普段から行っている取り組みについて 22 項目の中から選んで回答いただきました。その順位は次のとおりです。

- それぞれ半数以上が「広報とやま」を読み、「ごみの分別・減量化」に取り組んでいる
 上位 3 項目は、前回から引き続き同一の取り組みが挙げられており、市政情報を得るために「広報とやま」をお読みいただいている割合が最も高くなっています。
 また、同一順位である「ごみの分別排出と減量化」や、「地域の環境美化活動」「エコライフスタイルの推進」といった、環境に対して身近で出来る取り組みは、満足度の高い施策でもあります。
 今回新たに設けた「スマートフォンなどのモバイル端末」の使用には全体の 3 割を超える回答がみられ、「インターネットなどの利活用」が広く行われている様子がうかがえます。

【普段から行っている取り組み＜全体・前回比＞】



富山市民意識調査結果報告書《概要版》

平成 27 年 8 月 発行

富山市 企画管理部 企画調整課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL (076) 443-2010 (直通)

FAX (076) 443-2170

調査・分析 一般財団法人 北陸経済研究所

富山市丸の内一丁目 8 番 10 号

TEL (076) 433-1134
